

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可茂特別支援学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和5年5月18日（木） 10:00～12:00
- 3 開催場所 可茂特別支援学校会議室
- 4 参加者

会長	板津 幹彦	NPO法人プラス・ワン理事	
副会長	板倉 寿明	愛知淑徳大学非常勤講師	
委員	若尾 真理	可児市こども発達支援センターくれよん所長	
	三好 正司	元公立学校教頭（欠席）	
	蔵澄 寿磨子	御嵩町あゆみ館施設長	
	丸山 隆	牧野区長	
	板津 厚子	当校PTA会長	
	学校側	高井 繁喜	校長
		村橋 弘	事務部長
	村橋 昌則	教頭	
	河原 春恵	教頭	
	久保 幸世	小学部主事	
	大宮 薫	中学部主事	
	八束 功子	高等部主事	
	片山 麻紀	教務主任	

5 会議の概要（協議事項）

（1）教育の概要について

学校：令和5年度学校概要及び教育方針、学校運営機構等（資料）

意見1：現在のコロナの対応はどのようになっているか。

⇒5類に引き下げられたことから、マスクの着用は本人の意思によることとなっている。本校は重症化リスクの高い児童生徒もいるため、関係職員及び外部からの来校者にはマスクの着用をお願いしている。また、職員は週2回抗原検査を行っている。

意見2：職員の有給休暇はとれているか。

⇒本校独自で閉庁日を4日間設定するなど、積極的に取得するよう促している。また、育児に関する特別休暇等の取得を促すとともに、男性に対しても育児に積極的にかかわるよう働きかけている。

意見3：コロナ対応で、職員同士の何気ない会話の時間やチームワークに関わる部分などで失ったものもある。子どもに関わることなので、失ったものを従来とは違う別の形で作っていくよう考えてほしい。

⇒特に変わったのは校務のICT化である。職員への連絡がグループウェア等を利

用したものになり、職員同士が言葉で伝える必要がなくなった。その結果、コミュニケーション不足が課題である。

意見4：発達支援センターでは人材育成、人材不足に課題がある。働く人が集まらない。その点について学校はどうか。

⇒本校は規定の数の職員はいる。特別支援学校は講師の割合が小中学校に比べて大きい。教育実習では、教師になりたい気持ちを高められるように指導している。

意見5：健康教育に関わって、肥満について聞きたい。グループホームでは介護度の高い方が多く、100kg超えた方の介護もある。学校を卒業してから社会人になって、体重が増えていく方がいる。成人になると足首や膝の痛みを訴え、医師にも体重を落とすよう指導をうけている。

⇒本校でも校医からの指摘があり、身体を動かす習慣を身に付けていくよう指導している。また、学校と家庭が連携して取り組む必要がある。

意見6：卒業後の進路先を知りたい。

⇒昨年度は10人一般就労している。正社員4人、パート4人、契約社員2人。また、A型事業所4人、B型事業所8人、生活介護事業所6人、在宅3人であった。今年度は、本校に就学支援地域コーディネーターが配属されたので、事業所の新規開拓に取り組みたい。

意見7：コロナ禍で学校に来る機会が減った。PTAでは保護者が話をする機会をつくろうと考えている。今年度は授業のお手伝いのボランティアを募集しようと考えている。

⇒引き続き感染症予防対策に取り組みながら、PTAと連携して児童生徒の支援をしていきたい。

意見8：学校には多くの非常勤講師の先生や添乗員さんもいるが、ICT化が進むことによりコミュニケーションはとれているか。

⇒添乗員と教員は係を中心にコミュニケーションはとれている。職員間も常勤、非常勤に関わらず、主任等を中心にコミュニケーションをとるようにしている。昨年は150人が同じ職員室だったため教室等で仕事をする職員もいたが、今年度は職員室が2つになったことで、全員職員室で仕事をしており、話をする様子も見られる。また、会議が少なくなったことで話をする時間も増えている。

(2) 作業製品の価格設定について

学校：高等部作業学習の内容と取り組み方について説明
令和5年度高等部作業製品価格一覧表にて提案

意見1：社会の変化に対応して作業内容を見直すことは大切である。コミュニケーション能力、臨機応変に対応する力、自分で考えて判断する力の育成は、社会に出た時に必要となる。

(3) 学校と地域の連携について

学校：学校と地域の連携について（資料）より依頼

意見1：8月13日（日）17：00～21：00 牧野公民館で夏のキャンドルナイトが行われる。地域の方が販売するブースがあるので、参加していただいて、地域の方と関わっていけるといいと思う。

意見2：いっこいっこの会という事業所の集まりがあり、当番制で美濃加茂のメガドンキーで毎週土曜日に販売している。コロナ禍でできていなかったが、今年度は6月に会議を行い、販売を行う方向で考えている。

⇒本校の紹介も兼ねて地域のイベントに積極的に参加したいと考えている。また、高等部の喫茶が夏休み後にオープンする予定である。地域に案内をして、つなが

りを深めていきたい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・令和5年度作業製品の価格について、全委員より承認が得られた。

<今後の課題>

- ・児童生徒の安全安心を第一に、感染症予防に配慮しながら、学校行事を工夫し最大限実施する。
- ・ホームページ等を利用して情報発信に努めるとともに、本校の取組を知っていただくために地域との交流の機会を増やす。
- ・職員間、児童生徒、保護者とのコミュニケーションをより一層図る。
- ・今後の運営協議会は事前に資料等提供し、活発な意見交換ができるよう配慮する。